

AF-CBT ワークショップ 2021のご案内

Alternatives for Families: A Cognitive-Behavioral Therapy

家族のための代替案：認知行動療法

カウンセリング研究所ではこのたび、AF-CBT ワークショップ 2021 を開催する運びとなりました。AF-CBT は、子どもへの身体的虐待や暴言などの問題を抱えた家族の回復のため、ピッツバーグ大学医学部のD.J.Kolkoが開発したプログラムです。

トレーニングは、① 3日間のワークショップ、② 1年間の継続研修（11月より月1回実施）、③ アドバンス研修（半年後を目途に開催予定）からなる「1年間の学習プログラム」というスタイルで実施されます。

今回は①ワークショップのご案内となります。参加を希望される方は申込フォーム <https://forms.gle/EovZ4AiNtUPhPacu8> からお申し込みください（AF-CBT Japan ホームページにも申込フォームを用意しております）。

ワークショップから始まる1年間、皆さまと学び合うことを楽しみにしております。皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

AF-CBTワークショップ 2021 トレーナー

犬塚 峰子（本学客員教授、AF-CBT Japan 代表）
保科 保子（当研究所 相談員）

ゲストコメンター（AF-CBT 認定トレーナー）

Meghan Shaver, MSW, LSW



日程：2021年10月15日（金）～10月17日（日）

時間：9:30-17:00

参加形式：ZOOMでのオンライン開催

参加費：60,000円

資料代：5,000円（セッションガイド代を含む）

※納入方法や期限については参加者確定後にご連絡します。

申込み：申込フォーム <https://forms.gle/EovZ4AiNtUPhPacu8>

申込受付期間：2021年6月10日（木）～7月31日（土）

※お申し込みが定員を大幅に上回った場合、事務局にて選考の手続きを取らせていただきます。

※8月中旬を目途に参加確定通知をお送りいたします。納入方法や期限については、参加確定通知にてご案内いたします。

AF-CBTのご紹介

AF-CBT は、子どもへの身体的虐待や暴言などの問題を抱えた家族の回復のため、ピッツバーグ大学医学部のD.J.Kolkoが開発したプログラムです。プログラムには、学習理論や行動理論、家族システム、認知療法、発達の被害者学など様々な観点から技法や理論が取り入れられ、養育者の不適切な関わりや対応を減らすとともに、虐待の影響による子ども側の情緒・行動上の問題の改善を図り、家庭が安全で、穏やかな場となることが目指されます。親子がともに参加するため、親子、さらに親子関係のそれぞれに対して治療的な介入ができることが特徴です。なおAF-CBTは、NCTSN（米国子どもトラウマティック・ストレスネットワーク <http://www.nctsn.org/>）により、エビデンスに基づく治療法として推奨されています。

AF-CBTの詳細については、（日本）<http://afcbt-japan.org/>（米国）<http://www.afcbt.org/>をご参照ください。

大正大学カウンセリング研究所では、2012年11月、開発者であるKolko博士の協力のもと、国内初のワークショップを開催しました。月1回のWebコンサルテーションではAF-CBT導入ケースについて、講師からの具体的な助言・指導を受けることを重ね、2019年より日本人トレーナーによるワークショップを開催しております。年々国内導入ケース数も増えており、有効性を実感するという声が寄せられています。

<AF-CBTワークショップ事務局>

大正大学カウンセリング研究所

AF-CBT Japan 代表：犬塚峰子

〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨3-20-1

TEL：03-5394-3035/FAX：03-5394-3041